

# 平成29年 新年のごあいさつ



市長  
森山 一正

明けましておめでとうござ  
います。

昨年は市制施行50周年とい  
う節目の年を多くの市民の皆  
様と共に祝いできましたこと  
と、大変うれしく思います。  
振り返りますと、明和池公園  
の供用開始や市民文化ホール  
のリニューアル、別府コミュ

ニティセンターの新設など、  
50周年を飾るにふさわしいさ  
まざまな事業が完遂できまし  
た。そして今年には、国立循環  
器病研究センターを中心とす  
る「健都」のまちづくりが具  
体化してまいります。これら  
の諸事業を大過なく着実に実  
現できますことは、市民の皆  
様をはじめ市議会議員の皆様  
のご理解とご協力の賜物であ  
ると、改めてお礼を申し上げ  
ます。

さらに、交通便利性の向上  
はもとより、緑や自然といっ  
た潤いのある環境を整備する  
など、まだまだ達成すべき課  
題もあります。福祉の分野に  
おいても、極端な少子高齢化  
がさまざまな影響を及ぼし、  
子育て支援は待ったなし、年  
金や医療にもますます注力し  
ていかななくてはなりません。  
これら諸課題をまちづくりの  
新たな種と捉え、次の50年に  
向かう第一歩の年にするべ  
く、本年も「安全・安心」「健  
康づくり」に取り組んでまい  
りますので、皆様のご理解と  
ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます、年頭のごあいさつ  
といたします。



市議会 議長  
野原 修

明けましておめでとうござ  
います。

また、日頃から市議会に対  
し、温かいご理解とご協力を  
賜り厚くお礼申し上げます。  
昨年を振り返りますと、  
ノーベル生理学・医学賞を単  
独受賞されました大隅良典教  
授の「誰もやっていないこと

をやるという姿勢を貫いてき  
ました」という言葉が思い出  
されます。

人口の減少と超高齢社会の  
中、地方自治体は持続可能な  
自治体運営を行うために、地  
方創生の取り組みを加速させ  
ておりますが、まさに、本市  
の特性を生かしながら独自の  
工夫をいかに見出すかに懸  
かっていると思えます。

今、本市におきましては、  
国立循環器病研究センターの  
移転に伴う、国内初の「予防  
医療のまちづくり」が新たな  
展望となっており、健康寿命

の延伸と生涯にわたって活躍  
できる暮らしの構築に向けた  
取り組みを推し進めてまい  
る所存であります。

市議会といたしましては、  
今後皆様様の声を市政に反映  
できますよう「より身近な開  
かれた議会」を目指し、議決  
機関としての役割を果たして  
まいりますので、一層のご支  
援をお願い申し上げます。

結びに、今年も明るく希望  
の持てる一年となりますこと  
もに、皆様のご健勝とご多幸  
を心から祈念し、新年のごあ  
いさつとさせていただきます。